

実践事例発表レジュメ

研修・研究事業名	図書館司書専門講座
実践事例名（テーマ）	他部局や地域住民と協働した高齢者サービス
事業主体（実施機関）	川崎市立宮前図書館
連携・協力機関等	川崎市健康福祉局地域包括支援センター、宮前区役所、宮前市民館、宮前平地域包括支援センター等
発表者	舟田 彰

期日 平成30年6月21日

内 容

少子高齢化が進む中、本市の地域包括ケアシステムは市の基本政策の一つの柱となり展開されている。宮前区では平成27年度の国勢調査の統計で男性、女性共に平均寿命年齢の全国第10位（男82.4歳、女88.4歳）と上位にある。さらに、図書館内では認知症と思われる利用者が見受けられることも少なくない。区内には認知症専門病院があり、認知症の方を対象とした地域交流の場である「認知症カフェ」も数多く開設されている。

宮前図書館では、認知症と思われる方やその家族へ情報提供や、いつまでも安心して図書館を利用できる体制づくりを日常行われている業務の中で模索しながら取り組んでいる。予防や発症後という視点からも図書館が情報提供することは、市民の健康を守るという視点で必要な取り組みとして位置づけ他機関との連携の中で充実させ、より付加価値を付けた情報として市民へ提供している。また、地域の中で活発な活動をしているシニア層に向けた事業を他機関と共に実施し、地域の中で活躍でき、生きがいがづくりへつながる取り組みが図書館を通して行われている。

地域の課題解決に向け、各関係機関や市民と様々な連携の中で試行的な取り組みが続いている。

〔参考文献〕

- ・「超高齢社会と図書館～生きがいがづくりから認知症支援まで～」
国立国会図書館関西館図書館協力課
- ・「平成28・29年度 川崎市社会教育委員会議図書館専門部会研究報告書—高齢化社会に向けた対応等について」 川崎市社会教育委員会議図書館専門部会
- ・「第7期 川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 かわさきいきいき長寿プラン ー平成30（2018）～32（2020）年度ー」 川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課
- ・「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」
川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室
- ・第5期宮前区地域福祉計画 平成30（2018）年度～平成32（2020）年度
川崎市宮前区役所 地域みまもり支援センター 地域ケア推進担当